



にゅうようせ

乳幼セだより

R5.6 No. 2

山口県
乳幼児の育ちと学び支援センター
☎083-933-4450
✉a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

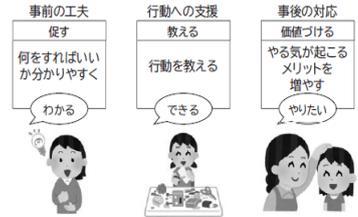
令和5年度の研修が始まりました!



5月19日(金)には、山口大学教育学部准教授の宮木秀雄先生を講師に、第1回特別支援教育・保育研修を開催しました。「子どもの望ましい行動を育てるポジティブ行動支援」というテーマで、子どもの特性ではなく、環境に目を向けることの大切さを学びました。また、望ましい行動を増やすためにはポジティブな支援(促す・教える・価値づける)が必要であり、「気になる行動を減らす」のではなく「望ましい行動を増やす」という言葉が印象に残りました。6月14日(水)までオンデマンド配信をしていますので、ぜひご覧ください。

受講者アンケートより

- ・良い行動が増えるように分析したり、手立てを考えたりしていきたい。
- ・実際自分が接している子どもに当てはめて考えることができた。
- ・明日からすぐに実践できる支援方法もわかりやすく学ぶことができました。
- ・「叱る技術より、子どもの褒め方の引き出しを増やした方が良い」とお話があり、大変勇気づけられました。



6月1日(木)には山口学芸大学教育学部教授の坂本久美子先生を講師に、音楽表現「子どもの育ちとわらべうたあそび」、東亜大学人間科学部教授の櫛田芳美先生を講師に、身体表現「楽しくからだを動かそう!」の2部構成で第2回乳児保育研修を開催しました。触れ合いを楽しんだり体を動かしたりと実践しながら学ぶことができました。今年度、乳幼セでは「学んだことをどう活かすか」が大切だと考え、研修の振り返りの時間の充実に力を入れています。園での実践につなげるために、研修での学びを他の先生と共有することで、明日からの保育につながるヒントが得られたのではないかと思います。第1回目はオンラインによる講演会でしたが、今回は実技講習がメイン。実際に他の先生と出会い、一緒に研修を受け、気持ちを共有できることは対面研修ならではのよさだと感じました。



わらべうたの特徴や必要性を学びました。



♪に〜ぎりばっちりたてよこひよこ♪



〜振り返り〜



“あたまかたひさばん”の乳児さんバージョン



バナナくんたいそう各グループオリジナルのポーズができました!

受講者アンケートより

- ・日常に音楽や歌があることで子どもたちが楽しく関わりをもつことができると感じました。
- ・わらべうたの研修は珍しく、新鮮でとても興味深く勉強になりました。
- ・参観日などで、保護者へも広げていけたらと思います。
- ・振り返りを取り入れられていて、1人で振り返りより共通理解することで喜びも増えるなどと思いました。

乳幼セコラム いっぱい

25%でほめましょう

幼児教育アドバイザー 西川 麻里子

園の子どもたちが、ルールが守れない、乱暴な行動が多い等、不適切な行動が見られた場合どのように対応されていますか?不適切な行動に対して注意や叱責で改善する場合があります。しかしそうではない場合もあります。「ぼく、先生に叱られてばかりなんだ。走り回ったり喧嘩をしたりするから。」と話してくれた子どもがいるように、叱られることで自信を失ってしまうことがあります。不適切な行動を改善することが難しい子どもに対して25%でほめるという方法があります。おもちゃの片付けを例に考えると、全部片付けをしたとき、つまり100%でほめることが多いかと思えます。しかし、それがとても難しい子どもの場合、①片付ける場所を見た②1つだけ先生と一緒に片付けた、③2つは自分で片付けた・など、完全に片付けなくてもその子なりの片付けができたときにすかさずほめると「全部片付ける」という目標に近づいていく可能性が高くなります。100%でほめるのではなく、①でほめる、次は②でほめる・、というように25%でほめるのです。その子の行動が以前よりも良い方に向かったという瞬間を見逃さずにほめることで、自己肯定感も高まります。気になる子どもたちに出会うと先生方も悩みや不安も多くなってしまいがちです。先生方も25%で自分をほめてくださいね。

